

## —弘前市—

## 吉野町煉瓦倉庫が「弘前れんが倉庫美術館」に生まれ変わります！

## 1. はじめに

吉野町煉瓦倉庫は、酒造工場として明治・大正期に建設され、日本で初めてシードルが大々的に生産された場所としても知られている。また、弘前市出身のアーティスト奈良美智氏による展覧会が開催された場所としても知られ、市民に長年親しまれてきた場所である。

当市では、この吉野町煉瓦倉庫を改修し、市民活動・交流機能を有した美術館として、新しく再生させる取り組みをPFIの手法により進めている。



改修前の吉野町煉瓦倉庫

## 2. 事業概要

弘前市吉野町緑地周辺整備等PFI事業は市民生活の一層の充実や文化芸術活動の推進とともに、中心市街地の賑わいを創出するため、美術館を核とする文化交流拠点を新たに整備するものである。

実施にあたっては、特別目的会社である弘前芸術創造株式会社と設計・建設・運営・維持管理まで一括して行うPFI事業契約を締結し、民間のノウハウを活用した、より質の高いサービスの提供、整備費の縮減、維持管理の効率化を図ることとしている。

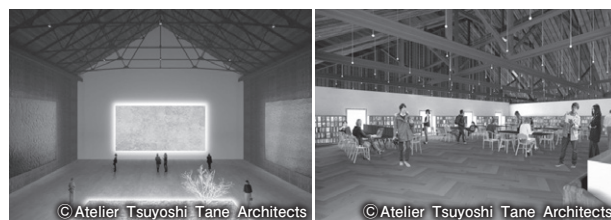
## 3. 改修概要

改修にあたっては、設計コンセプトに「記憶の継承」を掲げ、煉瓦倉庫が持つ歴史的な特性と魅力を尊重・活用するとともに、現代的で新たな魅力を併せ持つ施設として再生することとしている。

具体的には、既存煉瓦壁内部にPC鋼棒を挿入し緊張することで、煉瓦倉庫の外観を損なわない補強としているほか、既存煉瓦壁基礎の両側に杭基礎を挟み込むように補強を行うなど、様々な補強要素を組み込むことにより、既存の煉瓦倉庫の風合いを保持しながらも耐震性能を高めた構造としている。

また、煉瓦倉庫の持つ空間性を活かし、国内でも稀な大型展示空間を計画するとともに、音楽活動や制作活動等ができるスタジオ、現代美術や弘前ゆかりの作家に関する資料を置くライブラリーなど市民に開かれた空間を構築する。

なお、老朽化した屋根は「シードル・ゴールド」と称したチタン材に葺き替えることで、単なる保存ではなく未来へ繋げる新たなデザインとしている。



大型展示空間

ライブラリー

## 4. おわりに

現在、これらの改修工事のほか、隣接する緑地の整備工事に着手するなど来年4月の開館に向けて整備を進めている。施設に展示する美術作品については、市の収集方針や展示空間に合致する作品の制作を新たに依頼するコミッションワークという手法により収集し、企画展では先進的な国内外のアートを紹介する予定である。

また、民間自主事業によるシードル工房・カフェ・ミュージアムショップを運営する別棟の整備も一体的に行う計画となっている。

本施設は、「弘前れんが倉庫美術館」と称し、2020年4月11日に開館します。皆様のご来館をお待ちしております。



完成イメージ

(弘前市 都市整備部 吉野町緑地整備推進室 三上 洋祐)